

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-239	高等学校	外国語	論理・表現 II	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
212 桐原	論 II 714	FACTBOOK English Logic and Expression II		

1. 編修の基本方針

教育基本法第 2 条の目標を達成するため、題材および言語活動の内容は、生徒の発達段階を考慮しつつ、個人の成長に資するだけでなく、個人と社会の相互補完的な関係について考える機会を設けるものを選定した。

2. 対照表

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
Part 1	Unit 1 How should we lead a healthy lifestyle?	生活習慣についての意見を述べる活動を通じて、幅広い知識と教養を身に付けるとともに、健やかな身体を養う。(第 1 号)	pp.14-23
	Unit 2 Steps we can take to Zero Hunger	飢餓支援の取り組みについて述べる活動を通じて、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。(第 3 号)	pp.24-33
	Thinking Logically 1 Donating the right kind of food	フードバンクに送るに相応しい食べ物について述べる活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う。(第 3 号)	pp.34-40
Part 2	Unit 3 What are good and bad sides of urbanization?	都市化の利点や問題について述べる活動を通じて、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う。(第 1 号)	pp.42-51
	Unit 4 Is your city sustainable enough?	持続可能な都市への取り組みについて述べる活動を通じて、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う。(第 4 号)	pp.52-61
	Thinking Logically 2 Well-managed city for the future	大都市で起きている問題とその解決策を述べる活動を通じて、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。(第 3 号)	pp.62-68
Part 3	Unit 5 Which should get more priority: culture or the environment?	環境保護を伝統文化より優先すべきかを述べる活動を通じて、伝統と文化を尊重するとともに、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う。(第 4 号)	pp.70-79
	Unit 6 How to live a plastic-free life	プラスチックごみの削減について述べる活動を通じて、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う。(第 4 号)	pp.80-89
	Thinking Logically 3 Thinking globally, acting locally	環境を助けるためにできる簡単な方法について述べる活動を通じて、創造性を培いながら、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う。(第 4 号)	pp.90-96

Part 4	Unit 7 Helping others at home and abroad	NGOの社会貢献活動について述べる活動を通じて、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。(第5号)	pp.98-107
	Unit 8 Challenges to equality	ジェンダー平等について説明する活動を通じて、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う。(第3号)	pp.108-117
	Thinking Logically 4 The growing role of charities	チャリティについて述べる活動を通じて、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。(第3号)	pp.118-124
Part 5	Unit 9 Produce locally, consume locally	地産地消について述べる活動を通じて、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養う。(第2号)	pp.126-135
	Unit 10 Sharing as one way to create new value	シェアリングエコノミーについて述べる活動を通じて、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。(第3号)	pp.136-145
	Thinking Logically 5 Community living, community thriving	都市や地方での生活の利点について述べる活動を通じて、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた郷土を愛する態度を養う。(第5号)	pp.146-162

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

学校教育法第51条第2号の「一般的な教養を高め、専門的な知識、技術及び技能を習得させること」及び第3号の「社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うこと」を目指して、特に以下の点に留意した。

- ・文法については、最初に当該文法を用いるに相応しい目的・場面・状況を設定し、タスク活動を行った後から、その文法について学習するという「タスク先行型」の構成にすることで、言語活動と文法を効果的に関連付けて学習できるようにした。(Unit 0～10の Speak, Write)
- ・日常的な話題や社会的な話題について幅広い視点からやりとりや発表、書く活動を行うことができるように、SDGs(持続可能な開発目標)に関連する話題を取り上げた。「論理・表現 I」からの発展を考慮し、生徒が身近な話題からより社会的な話題へと視点を広げてSDGsについて考えられるような場面・状況を設定した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-239	高等学校	外国語	論理・表現 II	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
212 桐原	論 II 714	FACTBOOK English Logic and Expression II		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

I. 全般的な留意点

- ・公共の精神に基づき、主体的によりよい社会を実現しようとする態度を養うために、SDGs（持続可能な開発目標）を参照しつつ、現代において解決すべき諸問題を幅広く採り上げた。
- ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、情報や相手の考えなどを的確に理解し、それらを活用して適切に表現したり伝え合ったりする力を養うために、各課のトピックに関連した特定の場面・状況を設定し、明確な目的をもってやり取りができるタスク活動を豊富に用意した。
- ・生徒が文法の規則を理解するだけでなく、それらをコミュニケーションの側面から捉えられるように、文法学習の前に、当該文法を使うに相応しい場面・状況を経験できる言語活動を行う構成とした。
- ・生徒が言語活動に主体的・自律的に取り組むことができるよう、活動後に振り返りの機会を設けるとともに、自己評価や自己改善に活用できる評価ルーブリックを用意した。

II. 教科書の構成

- ・テーマごとに5つのPartを設け、各Partは2つのUnitと1つのThinking Logicallyで構成している。
- ・Unitでは、タスクでの話す活動や書く活動を通して、機能的な表現や文法事項を学習する。また、習得技能に広がりを持たせるため、以下のように奇数Unitと偶数Unitで活動に変化をつけている。

[話す活動 (Speak)]

奇数Unit：最初にディスカッションを行う。その後、同じトピックについてのプレゼンテーション音声を聞き内容を整理した後、トピックについての感想や意見を発表し合う。

（「話す（やり取り）」から「話す（発表）」への流れ）

偶数Unit：最初にプレゼンテーションを聞き、その内容を説明（リテリング）し合う。その後、同じトピックについてのディスカッション音声を聞き内容を整理した後、ペアで議論をする。

（「話す（発表）」から「話す（やり取り）」への流れ）

[書く活動 (Write)]

奇数Unit：ウェブ掲示板で投稿に返信を書く活動を行った後、トピックについての意見文を書く。

偶数Unit：ウェブ掲示板で投稿に返信を書く活動を行った後、トピックに関連したさまざまな形式の文章（メールや手紙、校内新聞など）を書く。

- ・Thinking Logicallyでは、Unitで学習したテーマへの理解を深めながら、さまざまな型を用いたパラグラフライティングや、複数のパラグラフで構成されているエッセイのライティングを学習する。

[Thinking Logicallyで扱うライティングの型]

Thinking Logically 1：Descriptive（描写型）のパラグラフ

Thinking Logically 2 : Problem/Solution (問題解決型) のパラグラフ

Thinking Logically 3 : Cause and Effect (原因・結果型) のパラグラフ

Thinking Logically 4 : Compare and Contrast (比較・対比型) のパラグラフ

Thinking Logically 5 : 3-Paragraph Essay (3パラグラフ構成のエッセイ[意見文])

- Skills のページでは、スピーチ、ディスカッション、ディベート、プレゼンテーションについての解説と活動を設けている。Unit で扱うテーマや活動と関連させて行うことができる構成としている。

Ⅲ. 各課の学習の流れと編集上の留意点

[Unit 1～10]

①CAN-DO!

当該 Unit を通して英語でできるようになることを示し、学習の目的を明確化した。

②Small Talk

吹き出しの質問をヒントにペアで会話を行うことで、スキーマを活性化し、当該 Unit で扱うトピックへの関心を高められるようにした。

③Listen/Listen Again

同ジスクリプトを 2 回聞き、1 回目のリスニングでは会話の要点を整理し、2 回目のリスニングでは会話内で使用されている談話方略を確認できるようにした。

④Speak

【奇数 Unit: 「話す（やり取り）」→「話す（発表）」】

- 目的・場面・状況を設定し、ペアになって英語でディスカッションを行う。巻末の Information Card を通して各自に別々の情報を持たせ、やり取りをする必然性が生まれるようにした。
- Reflection
タスクの後に、うまく言えたことや言いたかったのに言えなかったことを振り返ることで、学習への動機づけを高めるようにした。
- Useful Expressions
タスクを行うために役立つ表現を整理した。文法学習ページとのリンクを設け、言語活動と文法学習を効果的に関連づけられるようにした。
- Speak Again
Useful Expressions を踏まえてタスクを再度行うことで、学習の成果を確認できるようにした。
- Model Discussion
Useful Expressions に示されている表現を用いたモデルディスカッションを掲載した。各発言の脇に機能を示すことで、発言内容だけでなく発言の意図や目的も確認できるようにした。また、モデルの後に議論をさらに展開させる活動として、Extend the Discussion というコーナーを設けた。
- Listen to a Presentation
ディスカッションの内容を再構成し、新情報を追加したプレゼンテーション音声を聞く活動を設けた。この後の活動でショートスピーチを行うためのモデルとしても機能するよう工夫した。
- Speak More and Q&A
これまで学習した内容を踏まえて、自分の感想や意見をパートナーに話す活動を用意した。ディスカッションよりも長めの内容を話すための足場として、プレゼンテーション音声を聞く活動や、事前にメモを取る欄を設けている。また、ショートスピーチを聞いた後に質疑応答を行うことで、聞く態度も養われるよ

うに配慮した。

【偶数 Unit: 「話す（発表）」 → 「話す（やり取り）」】

- 目的・場面・状況を設定し、ペアになってそれぞれプレゼンテーション音声を聞き、その内容を英語で説明（リテリング）する活動を設けた。巻末の **Information Card** には説明の概要図を示し、リテリングの参照資料として使えるようにした。
- **Reflection**
タスクの後に、うまく言えたことや言いたかったのに言えなかったことを振り返ることで、学習への動機づけを高めるようにした。
- **Useful Expressions**
タスクを行うために役立つ表現を整理した。文法学習ページとのリンクを設け、言語活動と文法学習を効果的に関連づけられるようにした。
- **Speak Again**
Useful Expressions を踏まえてタスクを再度行うことで、学習の成果を確認できるようにした。
- **Analyzing a Presentation**
最初に聞いたプレゼンテーションの内容を分析することで、プレゼンテーションの構成や各文の機能、聞き手に配慮した表現について学習できるようにした。
- **Listen to a Discussion**
プレゼンテーションの内容を踏まえたディスカッションの音声を聞き、その内容を整理する活動を設けた。この後に自分たちでディスカッションを行うためのモデルとしても機能するよう工夫した。
- **Speak More**
これまで学習した内容を踏まえて、パートナーとディスカッションをする活動を用意した。プレゼンテーションのリテリングやディスカッションのモデルを事前に学習することを通して、より長く深い内容を議論できるよう工夫した。

⑤Write

Speak と同様に、書くための特定の目的・場面・状況を設定した。まず、ウェブ掲示板に書かれている質問や相談に対して 3 文程度のコメントを書く活動を用意した。自分自身のコメントを書く前に 2 つの例題に取り組むことで、3 文をどのように構成すればよいか把握できるよう配慮した。

⑥Analyzing an Online Discussion

教科書の登場人物たちがオンラインで議論をし、その内容を整理する活動を設けた。整理したアイデアはその後の **Write More** での作文に生かすことができるよう工夫した。

⑦Write More

Write で書いた 3 文やオンラインディスカッションで整理した情報をもとに、5 文程度の文章を書く活動を用意した。

【奇数 Unit: 意見文のパラグラフ】

- まず例題に取り組むことで、文章を拡張させていくための観点を徐々に身につけられるようにした。また、パラグラフの各文を **OREO** に分類することで、文のどうしのつながりや機能を認識できるようにした。

【偶数 Unit: 多様な形式の文章（メールや手紙、校内新聞など）】

- まず例題に取り組むことで、文章を拡張させていくための観点を徐々に身につけられるようにした。また、文中の表現を改善する問題に取り組むことで、読み手を配慮した作文を意識できるよう配慮した。

⑧Write More +

Write More で書いた 5 文程度の文章を 5 文程度の文章に膨らませる活動を用意した。Write More と同様に例題を用意し、2つのレベルを比較しながら、どのような点を改善できるかを実感できるように工夫した。

⑨GRAMMAR

タスク活動で使用した文法を効果的に学習できるように、例文の右に Useful Expressions へのリンクを示した。Drills はタスクと同様の場面・状況に基づいた設問とした。Grammar in Context では、学習した文法をまとまりのある会話や文章の中で使えるような設問を掲載した。

[Thinking Logically 1～5]

①Small Talk

吹き出しをもとに会話をすることで、スキーマを活性化し、トピックへの関心を高められるようにした。

②Process Writing Tips

比較的短い文章を例に、論理的な飛躍や情報不足といった論理的課題を改善するコーナーを用意した。

③Tips for Writing a “○○” Paragraph

Process Writing Tips で行った改善結果を振り返りながら、各 Thinking Logically で扱うライティングの型について解説するコーナーを設けた。

④Summarizing Information for Thinking

長めの文章を要約する活動を設けた。3つのステップを通して段階的に要約を行えるよう配慮するとともに、次に行うライティングのアイデアとしても使えるように、論題に関連する文章を掲載した。

⑤Write

論題についてライティングを行うにあたり、Organizing, Outlining, Drafting, Improving の4つのステップを設け、段階を踏んでパラグラフを書けるようにした。Improving では、Model Paragraph A, B の文章について設問を解きながら、パラグラフの構成や内容を確認できるようにした。2つのレベルを掲載することで、それぞれを比較しながら、どのような点を改善できるかを実感できるように工夫した。

[Skills]

【Making a Speech】

聞き手に配慮したスピーチを行うためのページを用意した。ライティング原稿とスピーチ原稿を比較することで、それぞれの表現上の違いに気づきが生まれるよう工夫した。

【Having a Discussion】

Unit で行っているペアでのディスカッションをより効果的に行うためのページを用意した。

【Having a Debate】

即興型ディベートの方法についての解説やモデルを示すページを用意した。Unit で扱った論題を利用することで、Unit の学習の延長として即興型ディベートに取り組めるよう配慮した。

【Making a Presentation】

効果的な視覚資料を作成してプレゼンテーションを行うためのページを用意した。Unit で扱ったトピックを利用することで、Unit の学習の延長としてプレゼンテーションに取り組めるよう配慮した。

[その他]

生徒が自身のライティングやスピーキングを分析的に評価できるように、巻末に評価ルーブリックを掲載した。また、ペアでやり取りを行う際に参照できる表現集を巻末に掲載した。

2. 対照表							
図書の構成・内容	内容				内容の取扱い	該当箇所	配当 時数
	(1) 英語の特徴やきまりに関する事項	(2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項	(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項				
			① 言語活動に関する事項	② 言語の働きに関する事項			
Unit 1 How should we lead a healthy lifestyle?	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ), ウ(ア)(イ)	ア(ア)(イ), イ(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.14-23	5
Unit 2 Steps we can take to Zero Hunger	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ), ウ(ア)(イ)	ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.24-33	5
Thinking Logically 1 Donating the right kind of food	ア(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ)	ア(ア), イ(イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.34-40	3
Unit 3 What are good and bad sides of urbanization?	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ), ウ(ア)(イ)	ア(ア)(イ), イ(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.42-51	5
Unit 4 Is your city sustainable enough?	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ), ウ(ア)(イ)	ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.52-61	5
Thinking Logically 2 Well-managed city for the future	ア(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ)	ア(ア), イ(イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.62-68	3
Unit 5 Which should get more priority: culture or the environment?	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ), ウ(ア)(イ)	ア(ア)(イ), イ(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.70-79	5
Unit 6 How to live a plastic-free life	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ), ウ(ア)(イ)	ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.80-89	5
Thinking Logically 3 Thinking globally, acting locally	ア(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ)	ア(ア), イ(イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.90-96	3
Unit 7 Helping others at home and abroad	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ), ウ(ア)(イ)	ア(ア)(イ), イ(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.98-107	5
Unit 8 Challenges to equality	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ), ウ(ア)(イ)	ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.108-117	5
Thinking Logically 4 The growing role of charities	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ)	ア(ア), イ(イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.118-124	3
Unit 9 Produce locally, consume locally	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ), ウ(ア)(イ)	ア(ア)(イ), イ(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.126-135	5
Unit 10 Sharing as one way to create new value	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ), ウ(ア)(イ)	ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.136-145	5
Thinking Logically 5 Community living, community thriving	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ), エ(ア)(イ)	ア(ア), イ(イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.146-154	3
Making a Speech	ア(イ)	ア, イ	ア, ウ(ア)(イ)	ア(ア), イ(イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.156-157	1
Having a Discussion	ア(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ)	ア(ア), イ(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.158	1
Having a Debate	ア(イ)	ア, イ	イ(ア)(イ)	ア(ア), イ(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.159-161	2
Making a Presentation	ア(イ)	ア, イ	ア, イ(ア)(イ), エ(ア)(イ)	ア(ア), イ(イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.162-164	2
							71